

認知症になっても安心して暮らせるまちへ 認知症をみんなで支えよう

認知症は身近な問題であり、いつ家族や親族が認知症になるか分かりません。正しく認知症を理解し、認知症になっても安心して暮らせるように、本市での取り組みを紹介します。

問合せ 長寿支援課 ☎33-4436

理解

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解をしてもらう講座です。認知症サポーターは、家族や近所の人、友人に、認知症で困っている人がいたら、声かけや手助けをするなど、自分のできる範囲で活動し、何か特別なことをする必要はありません。

内容

- ・認知症の症状について
- ・治療や予防について
- ・かわり方について

時間 約90分

講師 八代市キャラバン・メイト
その他 講座修了者には、オレンジリングが送られます。



見守り

高齢者事前登録制度

徘徊^{はいかい}の心配がある高齢者を家族などの希望により事前に登録し、警察や八代市などが情報を共有しておき、行方不明になった場合には、やっちらる認知症応援ネットワーク（八代市徘徊SOSネットワーク）協力機関に情報を提供し、早期発見・保護に活用する？



交流

認知症カフェ

認知症の人やその家族だけでなく、専門職や地域住民など誰もが気軽に参加でき、お茶を飲みながら交流できるカフェです。

市内の認知症カフェ

名称	所在地	開催日時	利用料金	問合せ
いずみの・カフェ	泉町下岳 4350 (小規模多機能型居宅介護いずみの里)	第4月曜日 午後1時～3時	100円	第1地域 包括支援センター
喫茶やまびこ	上日置町2345	年3回 午前10時～正午		第2地域 包括支援センター
ひなカフェ	沖町3987-3 (八代イオン内 ひなたぼっこ)	第1金曜日 午前10時30分～正午	無料	第3地域 包括支援センター
はちカフェ	海士江町2833-1 (地域密着型特別養護老人ホーム八代草)	第3木曜日 午後1時30分～3時		

支援

八代市認知症初期集中支援チーム

認知症専門医の指導の下、保健師・看護師や社会福祉士、介護福祉士などの複数の専門職がチーム員として、認知症の人や認知症が疑われる人の自宅を訪問し、心身状況・生活環境の確認を行います。

その上で、本人や家族の状況に合わせた支援を包括的・集中的に行い、認知症に対する適切な治療につなげ、自立生活のサポートを行います。

※支援は、一定期間（おおむね6カ月以内）集中的に行います。

対象者

40歳以上で、市内の自宅で生活している認知症の人や認知症が疑われる人で、次の

相談

認知症に関する相談など

- (1) (2)のいずれかに該当する人が対象となります。
- (1) 医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で、次の①～④のいずれかに該当する人
- ① 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
- ② 医療サービスを受けているが継続していない人
- ③ 適切な介護サービスに結び付いていない人
- ④ 介護サービスが中断している人
- (2) 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状（BPSD）により、対応に困っている人

長寿支援課または、各地域包括支援センター（P11掲載）まで相談ください。

認知症高齢者の徘徊探知機購入費等補助金

認知症による徘徊で行方不明となった高齢者の居場所を容易に検索することができる徘徊探知機の利用に係る初期費用の一部を補助します。

対象者、対象経費、補助金額などは長寿支援課に問い合わせください。また、補助を希望する人は、必ず契約前に相談ください。